

[第36回通常総会]

新たな視点で『会員の方々に親しまれるユニークな工業会』をコンセプトに、各種事業を展開していきます!

第36回通常総会が開催され、各議案可決・承認頂きました

元号も新たに制定された5月16日(木)17時より、HOTEL THE KNOT YOKOHAMAに於いて72名の出席で第36回通常総会が開催されました。

塚本裕樹総務部長(写真右)の司会で始まり、総会が成立していることを報告し、会則に従い加藤会長が議長あたることを提起され議事に移りました。

加藤議長より、議案審議に先立ち、議事録署名人に中川章(株中川工務店)を任命。第一号議案「平成30年度事業報告」について中村正親事業部長、関曙慶広報部長に報告を求め、中村事業部長(写真下左端)より「経営環境が著しく変化する状況の中で『経営活動にお役に立つ工業会』をスローガンに、今年度は新たな事業に取り組むと共に、朝食会をはじめ各種事業を通じて経営者間の連携・相互信頼が深まるよう事業を推進してきました」と述べ、各種会議結果として朝食会は平均39名の参加であったこと、各種事業では、新規事業として希望ヶ丘定時制高校とのインターンシップや横浜システム工学院専門学校との連携を行なったことも含め報告。関広報部長(写真下中)より、広報紙「みなと工業会だより」の発行、年度ダイジェスト版の発刊、メールマガジンの送信、HPの更新などに取り組みましたと報告しました。

引き続き、神名圭会計理事(写真下右端)より、平成30年度決算報告が行なわれ、「収入合計は、6,147,000円の予算に対し、6,122,198円となり、対予算比では99.6%となり、支出予算580万円に対して、5,760,411円99.3%となりました。なお、今期も25万円を特別積立金に積み立てましたと加えられ、白岩毅(株光電社)採決に移り、全会一致で承認頂きました。

引き続き、令和元年度事業計画に移り、中村事業部長より「企業を取り巻く環境は、第4次産業革命と言われる、産業構造・経営改革が進む中で、企業体質、企業を維持・発展させるためには、的確な情報を共有し経営を行っていく必要があります。今年度も当会の果たす役割を認識しつつ、新たな視点で『会員の方々に親しまれるユニークな工業会』をコンセプトに、各種事業を展開していきます」と述べられ、各種事業について、関広報部長からは広報活動について各々提案がされました。

神名会計理事からは「収入は、6,178,000円に繰越金314,874円を加え、6,492,874円と致しました。支出は、5,915,000万円と致しました。

今期も25万円を特別積立金へ繰り入れることとし、327,874円を予備費とし収支をバランス致しましたと述べられ、各項目について提案しました。

以上に対して、採決がされましたが、いずれも全会一致可決頂きました。

今期は、改選期にあたることから、加藤議長より、「理事・監事選任の考え



方として、皆様方のご理解が得られれば、以下の体制と致したい。各理事の方々の諸事情などを勘案させて頂き、(株)佐々木鉄工所 佐々木理事、古河電工パワーシステムズ(株)中野理事、横浜エレベータ(株) 前田理事、HOTEL THE KNOT YOKOHAMA 玉川理事は退任とさせて頂き、新理事として(株)佐々木鉄工所佐々木英力氏、横浜エレベータ(株)大石晴通氏、HOTEL THE KNOT YOKOHAMA 深川昭夫氏、新たに、セコム(株)加藤孝幸氏を選任致したい。また、監事ですが、(株)光電社白岩氏に代わり、大塚製薬(株)横浜支店 榎本英雄氏にお願い致します。その他の理事・監事の方々は全員留任でお願い致します。



以上の提案に対しまして、「如何でしょうか。」と提案し、全員意義なく確認頂きました。

引き続き、役員体制に移り「只今の確認頂きました内容に基づきまして、中村正親副会長兼事業部長は下りられ、理事・相談役に、新たに、山口喜久雄理事に副会長をお願いして、事業部長を担当頂きたいと考えております。他の役員の方々は留任とさせて頂きます。できれば、以上の内容でご承認頂きたいのですが如何でしょうか。」と提案し、確認頂きました。



議事も予定の時間通りに進み、横浜市優良工業従事者表彰へと移り、今年度は、(株)光電氏より、山田功秀氏、柏木忠浩氏、(株)三上西田尚文氏、山岸稔氏の4名(写真左上から)が受賞、林市長にかわり林琢己経済局長より表彰状が、加藤会長より、記念品が贈呈されました。



来賓挨拶に移り、横浜市林琢己経済局長(写真右中)より、特に、みなと工業会は経済局の事業、健康経営認証制度など非常に積極的に取り組まれていること、朝食会等活発に取り組まれており、会員も増えている事に敬意を表され、令和にはいり横浜は大きなイベントもあること、一方、横浜市は令和元年は人口のピークとなり、生産年齢の人口減少や消費税率の問題等から景気も不透明な状況のなかで、経済局としても精一杯努力しており、経済局としては、今年設備投資を支援しており、20人以下の小規模企業でも数万円の単位から応援しているので、是非活用頂きたい」と挨拶。引き続き、横浜市工業会連合会榎本英雄会長(写真右下)より、朝食会に時々出させて頂いていますが、親しみのある工業会と思っている。働き方改革による残業規制の問題や有給休暇取得の問題などが経営課題となっており、人手不足の中で我々は泥水を吸っても生き残らなければならない。そのためには是非、横浜市の制度や IDEC、市工連を活用して頂きたい」との挨拶を頂き、新たに副会長・事業部長となられた、山口喜久雄氏の閉会の言葉で幕を閉じました。



懇親会は、会場を3階に移し、塚本副会長の司会で始まり、加藤会長(写真左上)より、来賓をはじめご出席頂いた方々のお礼を述べ、引き続き、来賓を代表して、寺岡洋志西区長より挨拶を頂き、続いて、高橋功経済局中小企業振興部長(写真左下)に挨拶と乾杯で懇親会が始まりました。



懇親は、来賓を交えての歓談が進み、定刻の19時30分に、花本高志副会長より、中締め挨拶を頂き17時から続いた総会と宴もお開きとなりました。



